

発行所

津 奈 木 公 民 館

芦北郡津奈木町

電話(78)3111代

印刷所 旭 印 刷

電話(水俣)4101番

○右の題字は「徳富蘇峰さん」の顔を写したものです。

前ばか

津 奈 木



楽しく歌っています
コールつなぎ
溝口貴子

平成四年五月結成した『コールつなぎ』は今年で八年目を迎えます。その間、たくさんの先生方に御指導頂きました。どの先生も御多忙中にも拘らず熱心な我が『コールつなぎ』のために取り組んで頂きました。お陰様で日頃の練習の成果を発表する場も増え、11月20日(土)にはレディースコーラル合唱祭(熊本県立劇場大ホールにて)に参加することが決っております。しかし、その反面、歌が好きで集まったメンバーなのに、諸々の事情で練習に通えなくなる方が多くなり淋しい事になっているのも現状です。『コールつなぎ』が盛り上がるよう楽しい仲間を募集しております。お知り合いのメンバーまでご連絡頂けると幸いです。楽しく歌い集いましょう。

一言

温泉が大好きである。特に、サウナ風呂には目が無い。皆さんは如何でしょうか。週に何回かは温泉四季彩に行く。体を洗いサウナへ一直線。この頃はサウナ好きのお客さんと顔見知りになり、サウナの中で話に花が咲き、一回目は十分位で水に浸る。またこの水風呂がすごく気持ちいい。水風呂からあがり椅子に休憩していると、鳥肌が立ち体がじんじんしてくる。これがまた気持ちいいのである。その後、低周波の所に行く、この繰り返しで、サウナに四回、水三回、低周波三回で一時間三十分かかっている。

自分一人で行った時は、サウナ、水等の回数を増やし、最低二時間かけゆっくり温泉と親しんでいる。偶に、他町村の温泉に行き楽しんでるが、施設、温泉内の雰囲気は、四季彩が最高である。トンネルを通る時の快い気持ち、またモノレールに乗って露天風呂へ、不知火海に沈む夕日を眺めながら入る露天風呂は何ともいいえ。

(福岡靖夫)

がんばった 津奈木の子どもたち

津奈木中
▼7月24・25日に行われた県水泳大会。津奈木中からは2名の出場予定でしたが、下り藤君が体調不良のため山口智也君だけの出場となった。100mバタフライでは、3位で予選を突破し、決勝でも3位入賞が期待されましたが、惜しくも4位。400m個人メドレーも5位という両種目すばらしい成績を残しました。九州大会のキップを手にすることはできませんでしたが、山口君がとても輝いた一日でした。

上競技場で開催された通信陸上県大会において、鶴野剛士君が2年男子1500mで1位、3年生の村上浩章君が共通男子400mで1位というすばらしい成績を残しました。その結果、二人そろって8月8、9日に鹿児島で行われた九州中学校陸上競技大会に参加することができました。

津奈木小
今年も津奈木小学校ではVS(ボランティア・サービス)活動の一環として、一、二年生は校内の美化作業を、三年生以上は文化センターや特別養護老人ホームあけぼの苑の除草作業に快い汗を流しました。また、子どもたちが、さし芽から育てたポトチュラカの苗をあけぼの苑へ持っていきま



油彩 「山の田」 1980年代 境野一之作

舞い降りてきた静寂が、辺りを包む夕風の時。通り過ぎる梅雨の雨が、すべての命の音を消している。鎮守の森は、ふかみどりに染まり、地球の呼吸を感じていた。鬼ヤンマを追いかける僕らの夏は、もうすぐそこにきている。



郡中体連優勝



町長の激励

また村上君は51秒93という記録で、8月20・22日に富山で行われる全日本中学校陸上競技選手権大会への出場も決まりました。村上君は7月4日の国体県予選でも少年B男子400mで2位に入りました。ほかに6月13日に行われた県中学選手権大会の1年女子800mで篠原恵美さんが4位、共通男子1500mで鶴野君が3位、共通男子200mで村上君が4位に入賞しています。



勇壮なバチさばき

七月十一日(日)につなぎ文化センターで行なわれた「舞鶴太鼓10周年記念公演」に、赤崎小学校全校児童による赤崎太鼓も出演しました。やや緊張気味でしたが、練習の成果を発揮し、りっぱな演奏ができました。これも法被作り等で協力していただいた保護者や地域の皆様のおかげだと思います。感謝申し上げます。

赤崎小



あけぼの苑を訪ねて

平国小

平国小学校では、毎年地域の年寄りの方の指導を受け、さつま芋の畝づくり・苗植えの体験活動を行っています。今年は、六月十五日に、六名の年寄りの方の指導できれいに苗植えができました。このさつま芋は、収穫したあと、敬老会の餅つくりに使われます。昨年は三百キログラムとれました。



大きな芋になあれ

編集後記

九月一日は二十日、台風が一番大きいのが襲来するといわれている。今年も農作物に被害がない程度にやさしく通過してほしいものです。

十五日は敬老の日を迎えますが本町では百才をこえられた方が四名いらっしゃいます。益々お元気で長生きして下さい。

ガーデニング教室に参加して

平松 昭子



他所の家に、きれいに植えられた花を見れば、私も植えようと花の苗を買って

きてよく育たず、何方か教えて下さる方がおいでになればと思つていたところ、町民学習講座に今年からガーデニング教室がありました。

五月から始まり、最初は、基礎になる土作りから、肥

四半的

田之上 三夫

射の道「射は仁の道なり射は正しきを己に求む己正しくして而して後発す発して中らざる時は則ち己に勝つ者を怨みず反つてこれを己に求めるのみ」四半的弓道は正しい姿勢で背筋を伸ばし平常心で精神統一し真善美が完成したスポーツです。

競技の方法は判り易く服装も規定はなく、正座に支障のある方は器具使用可し練習は自宅でも一人でも出来ます。競技は老若男女の別なく、初心者でも平等で大



真剣なまなざしで



発表者のみなさん

童話発表を聞いて

真野 里子

本年度の津奈木町童話発表会が七月二十三日午前九時三十分から、つなぎ文化センターで開かれました。町の有線放送によって津奈木校区あけぼの大学受講生には特に参加のよびかけ

たが、スライドによる説明と植木等も持参され指導して下さいます。いろいろと質問も出て楽しく勉強させていたいただいておられます。帰りには植木を分けて戴き、家の鉢も少し増した様です。習った事をすぐ忘れてしましますが、一鉢からほちと、一年後の、きれいなガーデニングの夢を見ながら、頑張りたいと思います。

がありました。

生涯学習を図り、種々の行事を開催される教育委員会には何時もお世話になることばかりなので、初めて出席してみました。津奈木の三小学校から選ばれた一年生から六年生までの十二名の一人ひとりが主役です。

開会式の、斎藤教育長、山下教育委員長の「最近テレビにおされて本を読むことが少なくなったので、昔話を話すことで本に親しむ機会を増やしてほしい」と挨拶があり、本会の趣旨も理解できました。

五分から七分の暗記した話を堂々と話す態度は立派でした。一年生の四ヶ月前からは想像もできません。十二名の皆さんの発表態度に拍手を送ります。



アジアのマレーシアの話

ある。首都から車で山の中に入ると、ゴムやパーム椰子の木が並ぶプランテーションがある。

プランテーションでは、植民地時代にインドから連れてこられた人達が、椰子の果房を収穫して生活している。

働いている人はほとんど女性や子供たちである。日本は、マレーシアからゴムやパームオイルをたくさん輸入している。

高さ三十メートルはあるパーム椰子から、直径六、七十センチ、重さ二十キロの果房を大人たちが切り落とす。落ちた果房は子供たちが拾い集める。子供も、いなくてはならない大切な存在である。

一個でも大量の油がでる椰子の果房を一袋いっぱい詰めても、七十セント、約35円にしかない。35円でも大事なお金。大きな玉が取れた時は、そのまま製油工場へ運び、油にする。

を読んで

津奈木中三年 吉野 孝則

収穫だけでは生活できない家庭の場合、子供を工場へ働かせにいく。16歳以下は法律で働くことを禁止されているが、小さな工場ではこっそりと働かせている。子供が工場に働くことでやっと家庭が保たれている。家庭もあるのが子供の労働は助かっていると思いがちだが、工場は危険がいっぱい。工場主は機械の使い方一つも教えず、周りの人を見て教われ、といった具合である。工場の中で子供の事故があった時は、とにかく工場主は隠そうとする。なかなか公にしようとはしない。工場主は、安く雇える労働力としか考えていないのだ。日本とはまったく違う。マレーシアで収穫された椰子の油は、90%以上が日本に輸入されている。使い捨てをせずに、大切にしたいと思います。

幾多の困難を

乗り越えて

千々岩フサノさん(90)

(日常) 千々岩フサノさんは七十九歳の息子さんを頭に子供十二人(内、幼少の頃一人は死亡)孫三十一人、曾孫二十七人の合計七十人の子孫がおられます。

当時は生めよ増やせよの時代で国から表彰されています。三十代の時生死に



関わる大病をされたそうですが、薬草を煎じて飲まれ奇跡的に快復されたそうです。

驚くべき事に一昨年九十六歳で白内障の手術を受け

られ、約八年間失明されていたのが見えるようになったという事です。

主治医は麻酔がそのまま醒めない事もあり得ると反対されたそうですがそれを押し切った手術で「婆に縁があつたついでしようナア」と笑っておられました。

現在二度の足の骨折により歩行が困難になっておられますが、十一月の誕生日には白寿のお祝をされるそう、その時子供さんを始め一族が揃われるのを楽しみにしておられました。



わが町の文化財・石造物(19)『赤崎荒瀧伍太夫大関の墓』

墓石、高サ73cm 巾44cm
台座 蓮の花形高サ22cm 巾65cm
正面 飯西沢浄心信士
右面 安永二年癸巳
正月二十五日

後面 荒瀧伍太夫
西暦一七四五年、熊本の吉田司家第十六代 追国守により、故実門人に列せられ、一七七一年まで江戸相撲の小結、関脇を経て最高位、東方大関まで昇進し、幕内最高優勝を果し当時日本一と其の名を高めた。

荒瀧伍太夫は、赤崎に生れ、墓は日羅神社境内の下に現存する。

短歌

本郷武雄選

にわか雨降りくる如き雲行に
塩すけの梅干すをためらう

肥後狂句

野田 浦子

草刈機のエンジンふかせ荒草の
背丈に伸びし山畑に立つ

「えー、掃除するのー、きついなー」今の子どもを代表する言葉である。とにかく何か行動を起こす前に「きつい」という気持ちがある。起るというのである。「だるい」とか「面倒くさい」……とにかく疲れている。何もしたくないという気持ちである。

世の中は便利になった。自由になる時間はふんだんにある。生活は極限まで楽になったと言っても過言ではない。そんな毎日でも、子どもは疲れているらしい。勿論、このけだるさは身体的な疲れではない。

やつてみなけりやわからん

村田 十五郎

心のはたけである。エネルギーが満ちあふれて弾んだ気持ちにはなれないというこ

キャンパなどの自然体験活動へ参加する人たちが多くなった。「きついで楽しい」「また行きたくなった」という人は多い。

苦勞して火をおこし飯盒で炊いたご飯は格別ですとか、木々の間を散歩するだけで落ち着きますと言

う。自分の手足を動かして、直接肌で触れて感じたことは心までその信号が届く

である。間接的な情報だけでは、ある考えは浮かんできて、心からの思いは出てこない。感觸と一緒に感じた思いこそ、次の行動のエネルギーになる。どうやら、こんな体験こそ心のけ

庭の草取りをさせたところ、我が子ながらこんなに不器用とは思いませんでした……とある母親の言葉。似たようなことはいっぱいある。貴方も親子で、飯盒めしでも炊いてみませんか。

(津奈木小学校教頭)

寺本ツルヲ

「次笠」コップ酒 捨てられて
一笠(句)つ十月八日まで
つなぎ史料館へ